

●題名

2014年5月 飯豊 門内小屋デポ回収山行

●参加者

スキー:谷嶋(リーダー)、迫、勅使河原、落合

つぼ足:新海、松村(記録)

●行動記録

5/3 土曜

5:30 飯豊梅花皮荘

7:30 温水平

8:30 登りに差しかかる手前で休憩中、上部から巨大な雪ブロックが落ちてくる。勅使河原が事前に気付いて、難を逃れる。

雪解けが早く、沢の上を歩けないので、露出した夏道を歩く。川の 50m ほど上部をへつる感じで、道が崩れており、スキーブーツの4人は苦勞する。

10:00 歩みが遅いので、滝沢との出会いを眼下に眺める場所で大休憩。そこから梅花皮沢に降りる。

11:00 石転び沢出会い

13:30 門内沢途中でガスってくる。

稜線直下からみぞれ。強風のため立って歩くのが困難。

スキー無しの松村が先行して小屋を探したが、視界悪く、さらに門内沢のどこを登ってきたかロストしており、稜線上で右に行くか左に行くか GPS に頼ってしまった。常に地図読みを怠ってはいけないと反省した。実際は、門内岳山頂へ向かって沢を詰め上げており、山頂を見つけた後、北方向に降ると小屋があった。

16:30 門内小屋

17:00 夕食・就寝

谷嶋代表と新海が雪を取りに、再び嵐の中へ出ていった。(ありがとうございました)

夜中は風が強く、小屋全体が揺れる。

5/4 日曜

6:00 門内小屋発

昨日の雨のせいで雪面がクラストしている。

7:15 北股岳

8:00 梅花皮山荘

快晴の下、快適に稜線を歩く。

11:30 御西小屋

12:00 谷嶋・落合組は飯豊本山を目指す。迫・勅使河原組は周辺でスキー。新海・松村組は小屋で水つくり→昼寝。

14:00 迫・勅使河原組戻る

15:00 谷嶋・落合組。本山まで2時間で往復し、周辺をスキーして戻る。

16:00 夕食・就寝

5/5 月曜

5:15 御西小屋

7:15 梅花皮山荘(つぼ足組)

8:00 石転び沢(つぼ足組)

8:15 下部、崩壊地帯(つぼ足組)

8:30 石転び沢出会い(スキー組と合流)

9:30 斜面を登り、夏道に戻る

雪溪末端では、2日前よりスノーブリッジが薄くなっており、松村が片足を踏みぬいた。

11:00 温水平

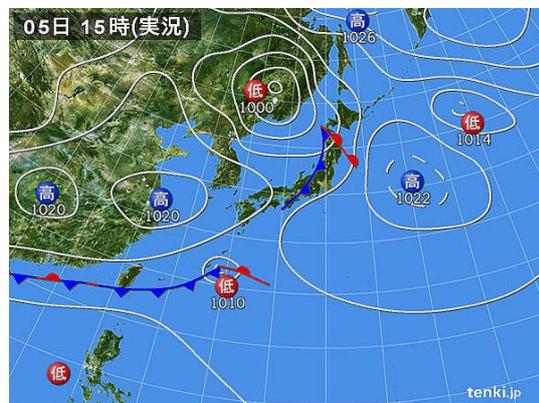
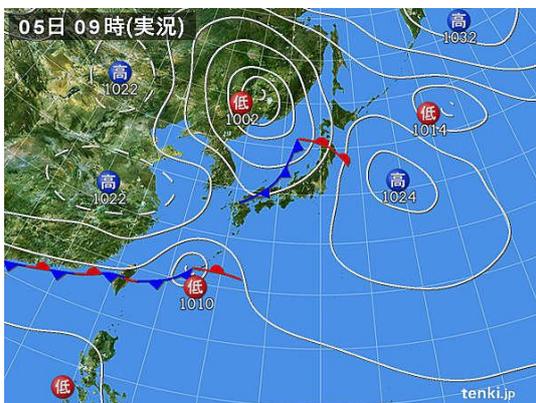
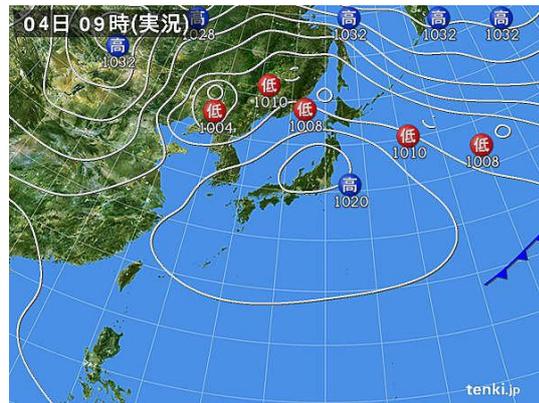
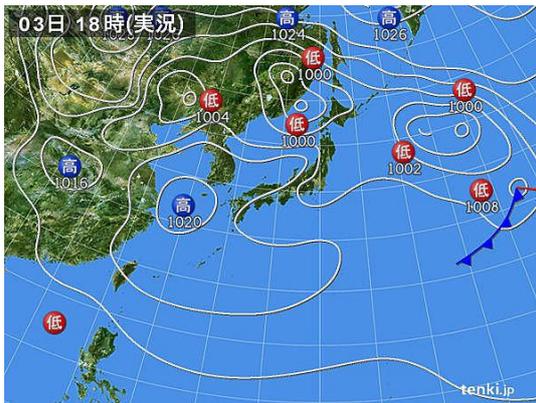
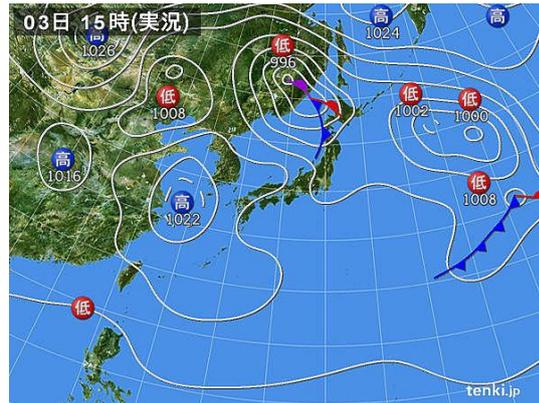
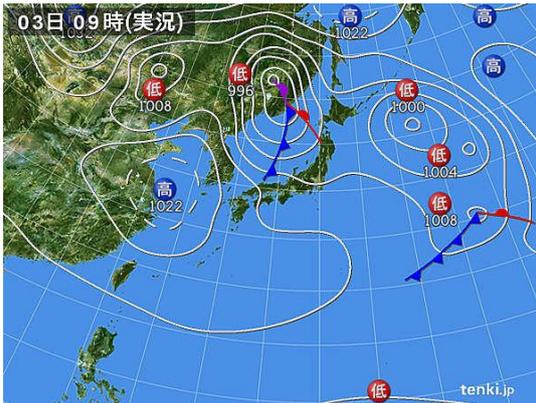
12:30 飯豊梅花皮荘

●天気図

5/3 は朝から快晴だったが、午後から雲が出始め、次第にガスの中になる。稜線上ではみぞれ混じりの強風。夜中は風が強いが、星が見えた。

5/4 は一日中晴れ。

5/5 は朝から雲があるが、前日よりも空気が澄んでおり、日本海が見えた。9時前後から小雨がぱらつくようになる。



●ルート選定

2013年冬合宿のために門内小屋にデポしておいた荷物を回収する。(頼母木小屋で敗退)
ついでに、飯豊本山登頂と、石転び沢スキー滑降、を合わせて、本計画とした。

●ルート概観

梅花皮沢下部の雪が少なく、藪や崩れた夏道を通行するため、苦勞した。
石転び沢は雪崩、崩壊が顕著だった。個人的には、門内沢も含めて、このルートを登下降するのは危険と感じた。とはいえ、多くの登山者に会った。
稜線は雪庇が発達しているので注意が必要。

ルート上の避難小屋の感想。

・門内小屋

やや古い。雨漏りをビニールシートで凌いでいるようだ。
稜線上にあり、風の影響をうける。

・梅花皮小屋

広い。綺麗。
水場あり。トイレあり。
鞍部にある。

・御西小屋

二階部分まで埋まっているのを、入口のみ掘り出されていた。
非常に綺麗。
トイレあるが使えず。
吹きだまりにある。冬は埋まっているのではないか。

●感想

登山自体はなんとういうことはない。

ただ、谷嶋代表と合宿をご一緒するのは、4年ぶりであった。くわえてベテラン勢も揃った。

当会の雰囲気は谷嶋代表の人間性に因るところが大きいと思うが、3日間を代表と過ごして、自然と当会の良さとか悪さとかいう方面に思いが巡った。

若い会員の方々も、ワンシーズン無駄にするつもりで、合宿に参加してみるものよいのではないだろうか。私は未経験だが、冬が一番よいだろう。

●食事(食担: 迫)

5/3 夜

カップヌードルごはん(味はいろいろ)。

5/4 朝

袋ラーメン(塩味)。

5/4 夜

お湯を注ぐだけパスタ(カルボナーラとペペロンチーノ(激辛))。

5/5 朝

アルファ米(ピラフ味)に坦々麺のもと、チーズをかける。

●デポ品

ガス缶大3個、赤旗、

缶詰(さば、いわし、豚肉)、煮魚(パウチ)、棒ラーメン、ビスケット、チョコ、せんべい、ビーフジャーキー、スープの素、アルファ米、サトウのご飯、レトルトカレー、お茶漬けのもと、魚肉ソーセージ、などなど

ワイン、日本酒、梅酒、ウイスキー

●写真



石転び沢出会い。下部に土砂が見える。ここから右の門内沢へ向かう。



門内沢中腹から見下ろす。ガスが出てきた。

●写真



2日目は快晴。後ろは門内小屋。



北股岳の東斜面。雪庇が見える。

●写真



鞍部に梅花皮小屋が見える。



飯豊本山は双児峰に見える山の向こう。

●写真



御西小屋。ほとんど雪に埋まっている。



3日目。曇り空の下、昨日来た道を引き返す。

●写真



石転び沢出会で待っていると、スキー組が追いつく。



新緑の季節。